

月例報告書

国際文化学科3年 玉谷天音

最近のフランスは雨、曇りが多く、気温がぐんと下がってきました。季節の変わり目なようで周りに咳や軽い風邪の人がちらほらいます。私もそのうちの一人です。皆さん、体調にお気をつけてお過ごしください。



<un voyage de Suisse>

9月はスイスに行ってきました。フランスにいた間に行ってみたかった国のひとつであるスイスはとっても壮大で素敵な場所でした。大きな山に囲まれた大自然はフランスでは見られるようなものではなく、やはりスイスらしい色味と景色だらけで、とても心動かされました。目的地とした場所はブリエントです。ブリエントは大きな湖に面した村のひとつで、ロートホルン鉄道という有名な、山に登ることのできる鉄道があります。二泊三日の旅でしたが、到着次の日の朝にロートホルンを予約し、朝早くから山頂に上りました。景色は絶景で、私はこんなにも高い

ところからの景色を見たことがなかったので、どのような感情を抱けばいいかわからなくなったほどでした。ただ、頂上に登る途中の景色は、スイスの絵画そのものでした。私がスイスに行きたかった大きな理由がセガンティーニという画家がスイスで絵を描いていたからです。彼の絵は不思議な色をしていてどうしてこんな色になるのかを不思議に思っていました。本当にこんな色をしていることに驚き、なぜあんなにもかすんだ黄緑色の絵を描くのか理解することができました。それが、何よりも感動したこと。頂上まで行くとさらに高い丘に登れるようになっていました。鳥が私たちより下を飛んでいること、湖に映る雲の影がはっきりと見えること、どれも初めて見るもので驚きでした。鉄道に乗った後は、船に乗って向かい側の街まで行きました。船からの景色もとても楽しく、両方を山に囲まれ、さっきまであそこにいたことを思い浮かべるのは何とも信じがたいものでした。私はあまり旅行先でのプランを立てないタイプで、その時の思い付き心惹かれる方を選んでいきます。

向かいの街についたときもそこに何か目的地があるわけではなかったのですが、少し散歩をしていたら、公園の真ん中に大きなチェス盤があるのを見つけました。本当は少しだけ遊ぶつもりでしたが、夢中になりすぎていて気づいたときにはもう宿に帰る時間になっていました。夜ご飯はスーパーで買った食材でご飯を作りました。スイスのスーパーも、物価は高かったですが、面白いものがたくさん並んでいて、見ていて飽きませんでした。お土産にはスイスのオルゴールを買いました。スイスは木の彫刻で有名なようで、あちらこちらに木の彫刻やお店がありました。オルゴールもそのお店で買ったものです。可愛くてとてもお気に入りです。次の日は朝早くに出ないといけなかったのでゆっくりできたのは一日だけです、それでもとてもいい滞在をできたと思っています。



<les cours d' été>

九月で夏学期が終了しました。一か月ごとに変わる夏学期でしたが、私のように4か月いた人や、二週間だけ、二ヶ月だけなど様々な人たちでいっぱいでした。私の今のクラスはレベルが三つ目のクラスなので、フランス語をそれなりに話せる人が多く、毎日刺激的でした。私に関していえば、まだまだ話しきれないところもあって、難しいなと思っています。コミュニケーションには瞬発力が必要です。いくら文法が、ボキャブラリーが備わっていても、いざ会話で考える時間ができてしまうと、たちまち会話は次の話題に行ってい

まいます。ここに来るまでは気づきませんでしたが、これは日本でも同じだなと思いました。積極的に物を言えなければ、自分の意見を言う機会は回ってこないし、実際にいうこともできません。私はまだ細かなニュアンスをフランス語で喋れない、音が口に慣れていない部分があります。もう半分も切って、留学も後半戦に入ってきました。これからはもっと積極的に発言していけるよう、頑張っていきたいです。

